

2 0 2 2

WAKASA

資料編

CONTENTS ー内 容ー

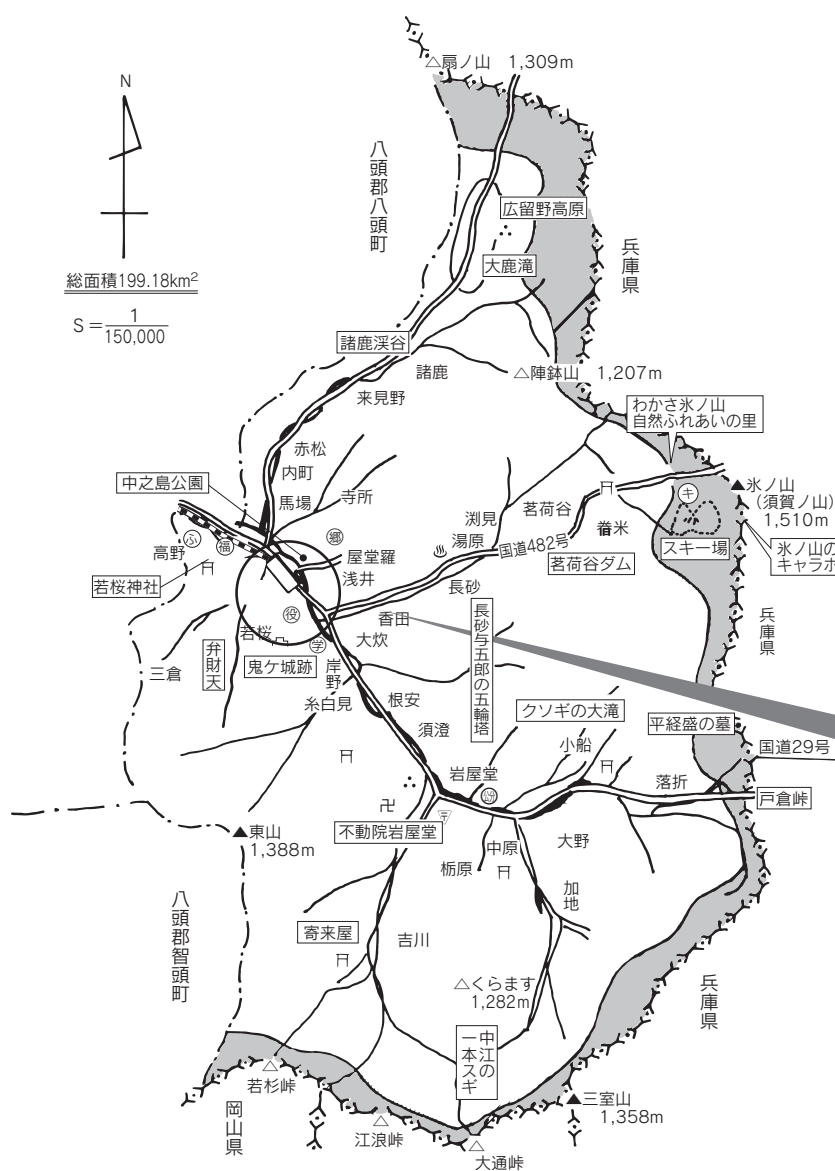
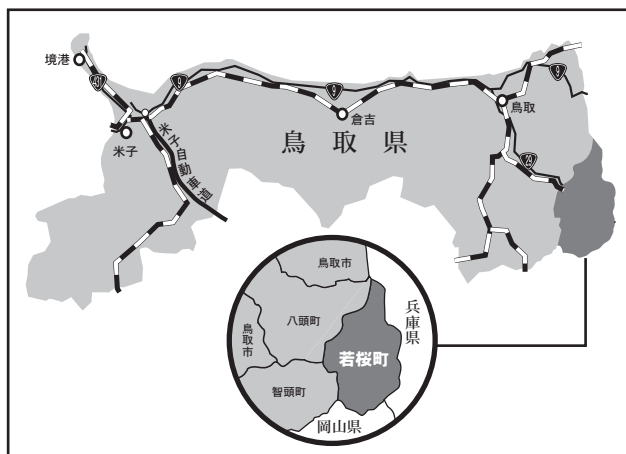
概 要	1
土地・気象	3
人 口	4
財 政	5
産 業	7
商 工 業	8
農 林 業	9
保 健	1 1
衛 生	1 2
教 育	1 2
建 設	1 3
交通・防災・消防	1 4
福 祉	1 5
文 化	1 6
行政・議会	1 7
合併後のあゆみ	2 0

概要

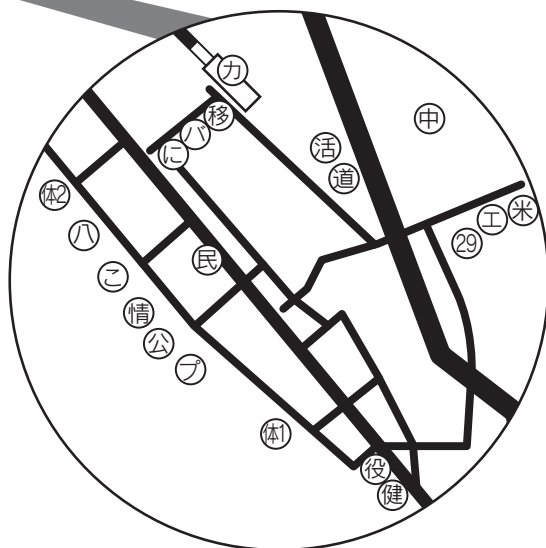
●まちの位置

若桜町は鳥取県の東南端に位置し、東は兵庫県、南は岡山県、北は八頭郡八頭町、西は智頭町にそれぞれ接しており、東西 14.1 km、南北 22.7 kmで総面積は 199.18 km²(19,918ha)を有している。

方位	地名	経度・緯度
東	若桜町大字落折(戸倉峠付近)	134° 30'
西	若桜町大字糸白見(智頭町境界付近)	134° 21'
南	若桜町大字中原(大通峠付近)	35° 13'
北	若桜町大字諸鹿(扇ノ山付近)	35° 26'



- ② 役場
- ③ 保健センター
- ④ 若桜町公民館・若桜町教育委員会
- ⑤ 若桜町公民館池田分館
- ⑥ わかさこども園
- ⑦ 若桜学園
- ⑧ 第1町民体育館
- ⑨ 第2町民体育館
- ⑩ 八幡広場
- ⑪ わかさ温水プール
- ⑫ わかさ生涯学習情報館
- ⑬ 若桜町移住定住・交流センター
- ⑭ 若桜町バスターミナル
- ⑮ 若桜民芸館
- ⑯ 若桜郷土文化の里
- ⑰ 若桜町ふれあい交流センター
- ⑱ 中之島公園
- ⑲ 若桜ゆはら温泉ふれあいの湯
- ⑳ わかさ29工房
- ㉑ 若桜エゴマ工房
- ㉒ 精米施設
- ㉓ 活性化施設(味工房)
- ㉔ 道の駅若桜(桜ん坊)
- ㉕ 若桜駅前ナカ店舗(わかさカフェ)
- ㉖ 若桜駅前にぎわいプラザ
- ㉗ 地域福祉センター・ドリーミー
- ㉘ 氷ノ山キャンプ場
- ㉙ 氷ノ山・後山・那岐山国定公園



■ 概 要

若桜町の歴史的沿革

若桜の名がはっきりと出てくるのは、平安時代の百科辞典である「わみょうるいじゆしやう和名類聚抄」だといわれます。

中世の若桜町は、駿河の国阿部郡矢部村（現在の静岡県）に住んでいた矢部氏が、梶原景時を討ち取った軍功による恩賞として、鎌倉幕府から因幡の国八上郡の山田村ほか20余カ所を賜り、これが若桜鬼ヶ城の初めであると言われています。

この矢部氏は一説によると16代続き、天正3年（1575）山中鹿之介ら尼子勢により攻め滅ぼされています。その後、羽柴秀吉の配下・木下備中守重堅が慶長5年（1600）の関ヶ原の合戦まで入城、その後に山崎家盛、子の山崎家治が元和3年（1617）に一国一城令により備中成羽に移封されるまで、若桜鬼ヶ城の城主としてこの地を治めていました。

若桜宿に残る町割りや水路は、この山崎氏の時に完成したものが現在に継承されていると言われています。

この若桜郷の中心地は若桜宿と呼ばれ、寛政7年（1795）に編纂された「因幡誌」には「当初は近世まで数百年相続の城下町なれば、今に其の遺風ありて町並み民家の造りも他の在郷とは異なりて美麗なり、小路一筋なれども両側に小川通りて、（中略）産物多く諸職人ありて諸品を仕出して国中に交易す、郡中の大邑なり」と書かれているように、若桜は城下町、その後宿場町として交通の要路、地方物資の集散地として発展してきました。

その後の若桜は、明治42年4月に若桜村・赤松村・菅野村が合併して「町制」を実施しました。当時の新聞「因伯時報」が「驚くなかれ本郡唯一の町制実施地は若桜である」と報道しているように、八頭郡内では最初に町制を実施した町でもあります。

昭和29年3月に、若桜町と池田村が合併し現在の若桜町が誕生し、今日にいたっています。

町村合併以降の若桜町は、昭和35年の人口9,616人をピークに高度経済成長期に大都市圏への人口流出が続き、昭和54年2月の八頭高等学校若桜分校廃校、昭和62年10月の国鉄若桜線廃止などにより、令和2年の国勢調査では人口2,864人まで減少し、少子高齢化も進行しています。

平成15年3月には、近隣の4町で八頭東部合併協議会を設立し協議を積み重ねましたが、平成16年8月に協議会から離脱し、単独存続の道を歩むことになりました。現在、地方創生を推進していくために、顔が見える、町民主体のまちづくりの推進に努めています。

■土地・気象

◆地目別土地面積の推移

資料：税務課（概要調書）

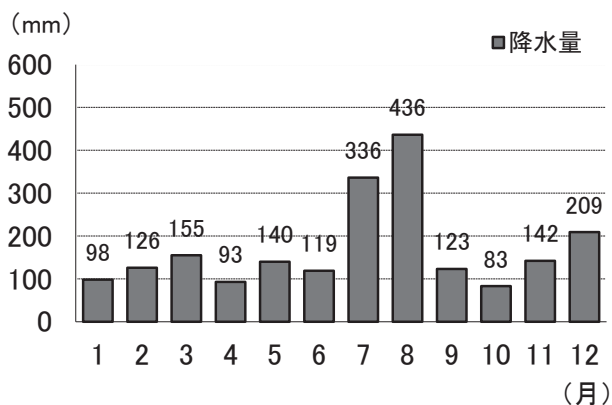
年度 地目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
総面積	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%
	19,918	100.0	19,918	100.0	19,918	100.0	19,918	100.0	19,918	100.0	19,918	100.0
田	308	1.6	306	1.5	303	1.5	302	1.5	302	1.5	302	1.5
畑	245	1.2	222	1.1	220	1.1	219	1.1	219	1.1	219	1.1
宅 地	82	0.4	81	0.4	83	0.4	85	0.4	85	0.4	85	0.4
山 林	14,047	70.5	14,060	70.6	14,060	70.6	14,060	70.6	14,058	70.6	14,057	70.6
原 野	742	3.7	752	3.8	752	3.8	752	3.8	752	3.8	752	3.8
雑種地	54	0.3	53	0.3	54	0.3	49	0.3	54	0.3	54	0.3
その他	4,440	22.3	4,444	22.3	4,446	22.3	4,451	22.3	4,448	22.3	4,449	22.3

1ha=10,000 m²

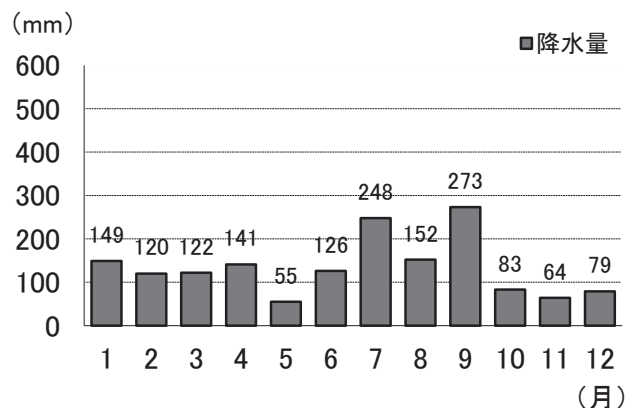
◆月別降水量

資料：鳥取地方気象台

令和3年



令和4年

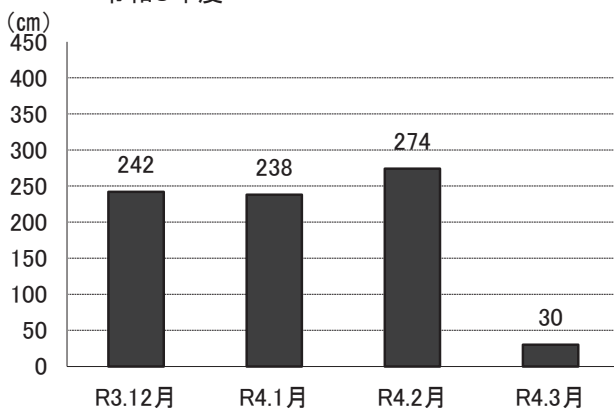


◆月別降雪量

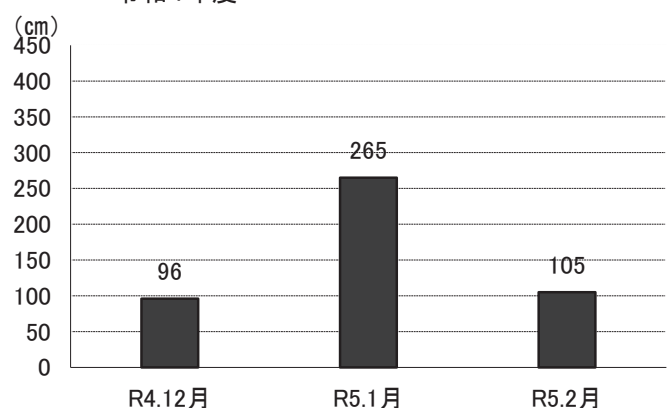
■ 春米

資料：地域整備課

令和3年度



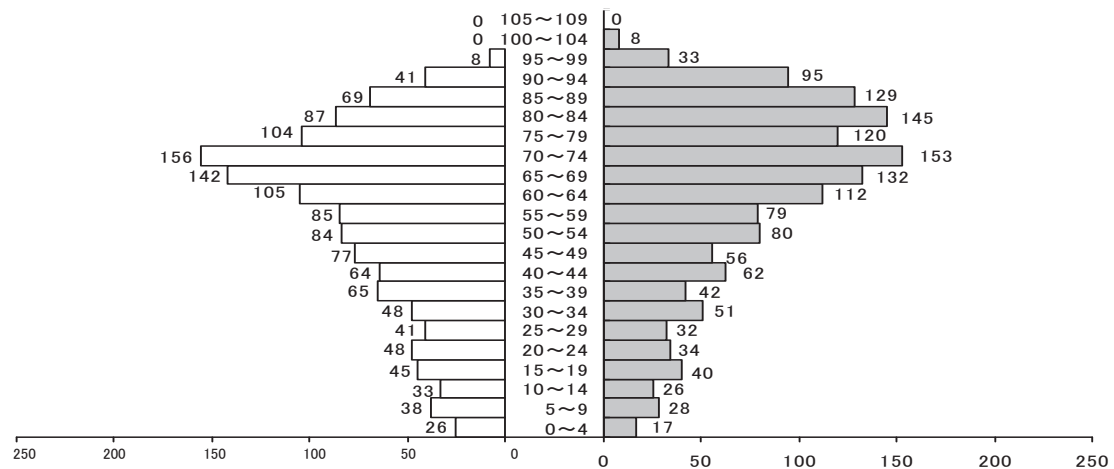
令和4年度



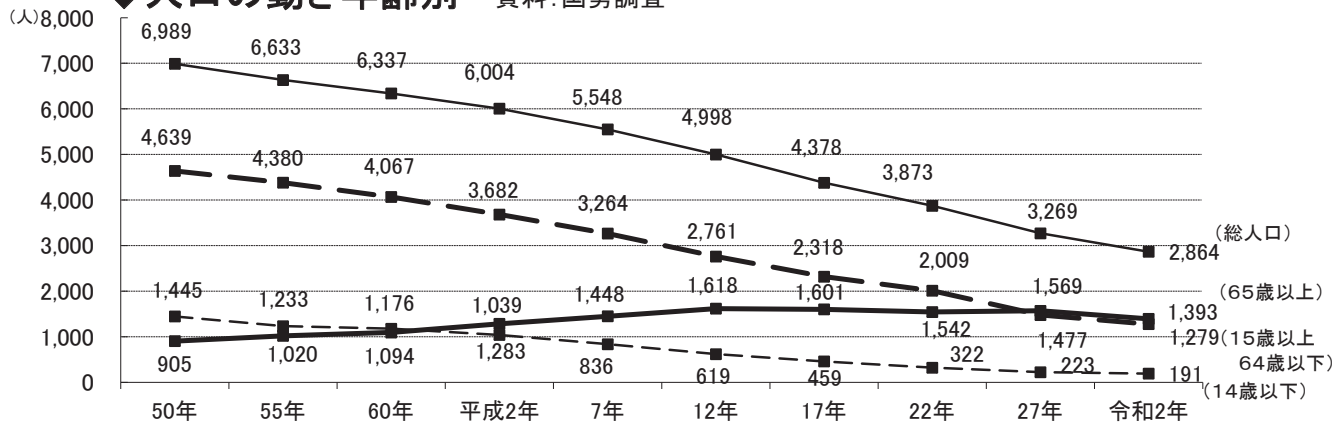
■人 口

◆5歳階級別人口 資料:住民基本台帳(令和4年12月31日時点)

男 1,366人 人口合計 2,840人 女 1,474人



◆人口の動き年齢別 資料:国勢調査

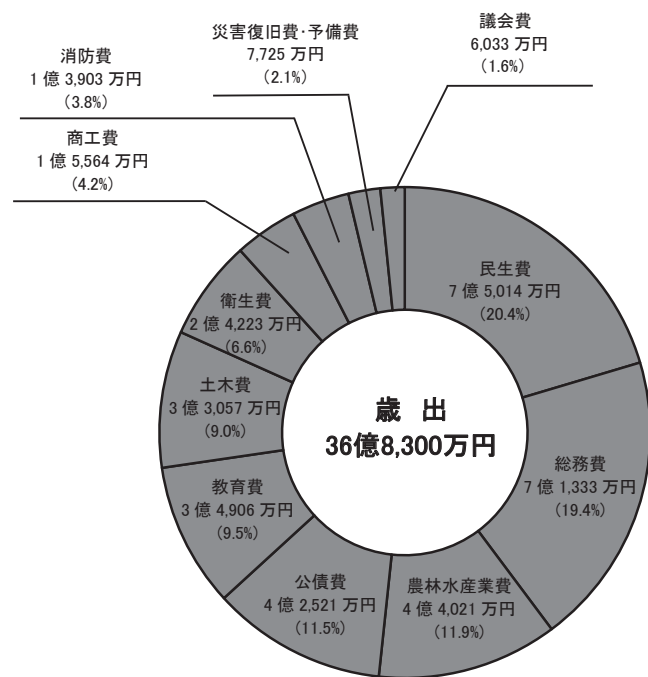
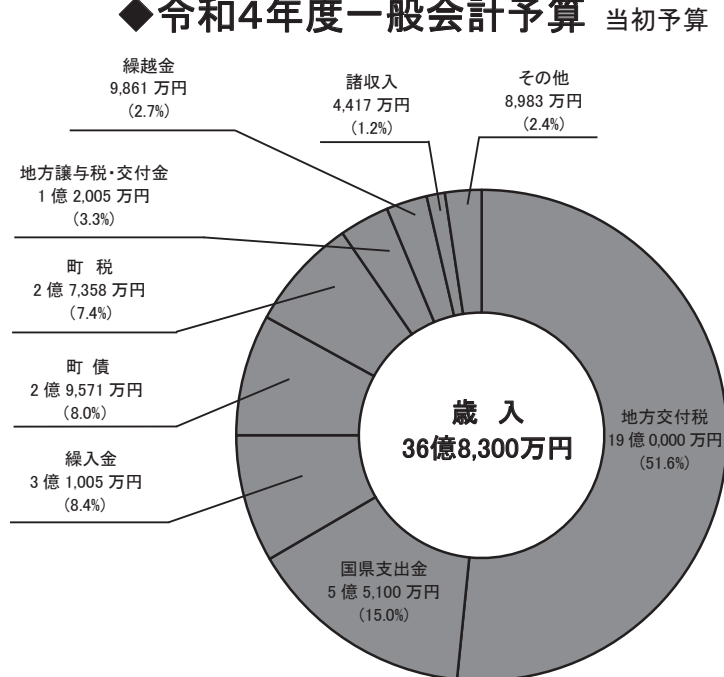


◆集落別世帯数と人口 資料:住民基本台帳(令和4年12月31日時点)

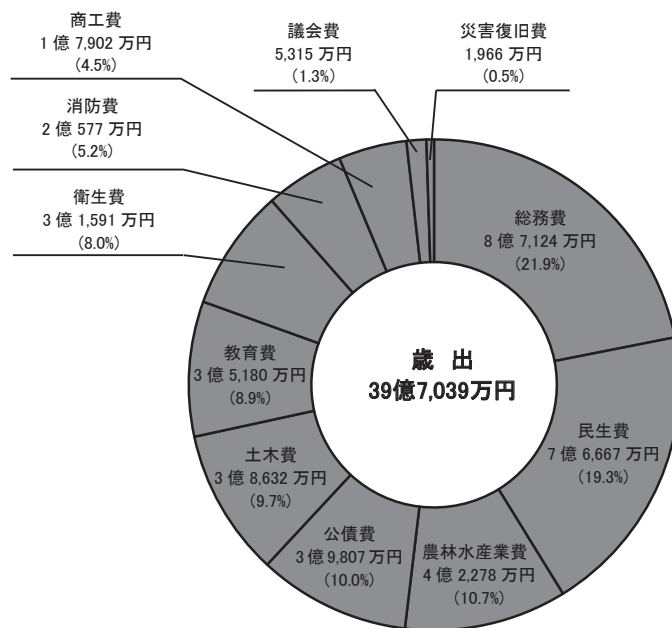
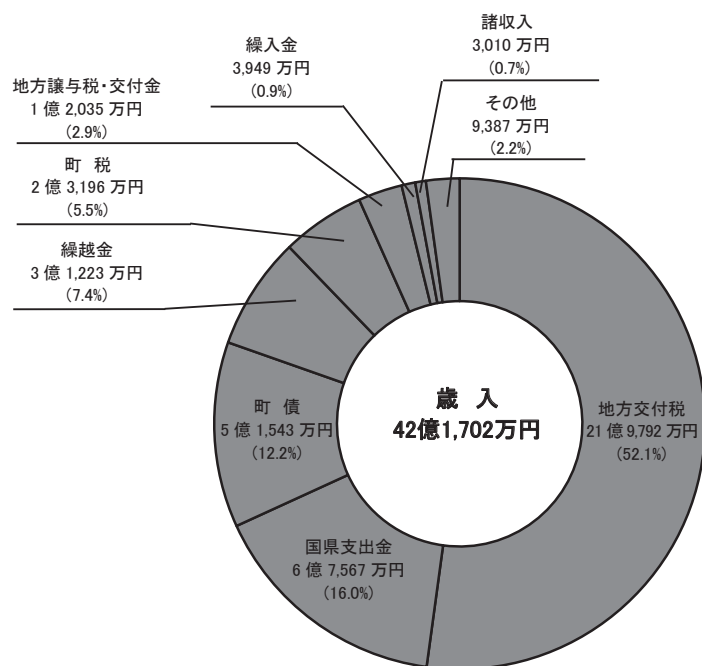
集落名	65歳以上	世帯数	人口	集落名	65歳以上	世帯数	人口	集落名	65歳以上	世帯数	人口
新 町	62	55	157	あかまつ団地	10	26	91	岸 野	15	10	29
山田町	54	53	116	寺 所	5	4	7	糸白見	47	42	100
上 町	67	55	113	馬 場	14	16	33	根 安	26	22	45
中 町	26	26	46	内 町	20	16	39	須 澄	26	23	52
下 町	77	66	146	赤 松	16	12	24	岩屋堂	21	22	35
西 町	167	159	356	来見野	19	12	21	吉 川	93	69	141
農人町	82	68	161	諸 鹿	24	22	28	栃 原	24	17	35
三 倉	14	12	33	香 田	21	17	42	中 原	17	25	34
上高野	21	17	37	長 砂	10	8	18	加 地	30	22	44
高 野	67	72	161	湯 原	19	14	26	大 野	37	28	59
浅 井	38	31	75	湊 見	13	10	21	小 船	59	44	80
若葉団地	42	80	181	茗荷谷	3	4	5	落 折	19	14	34
口屋堂羅	27	21	58	眷 米	45	35	73				
屋堂羅	21	12	40	大 炊	24	16	44	総 数	1,422	1,277	2,840

■財 政

◆令和4年度一般会計予算 当初予算

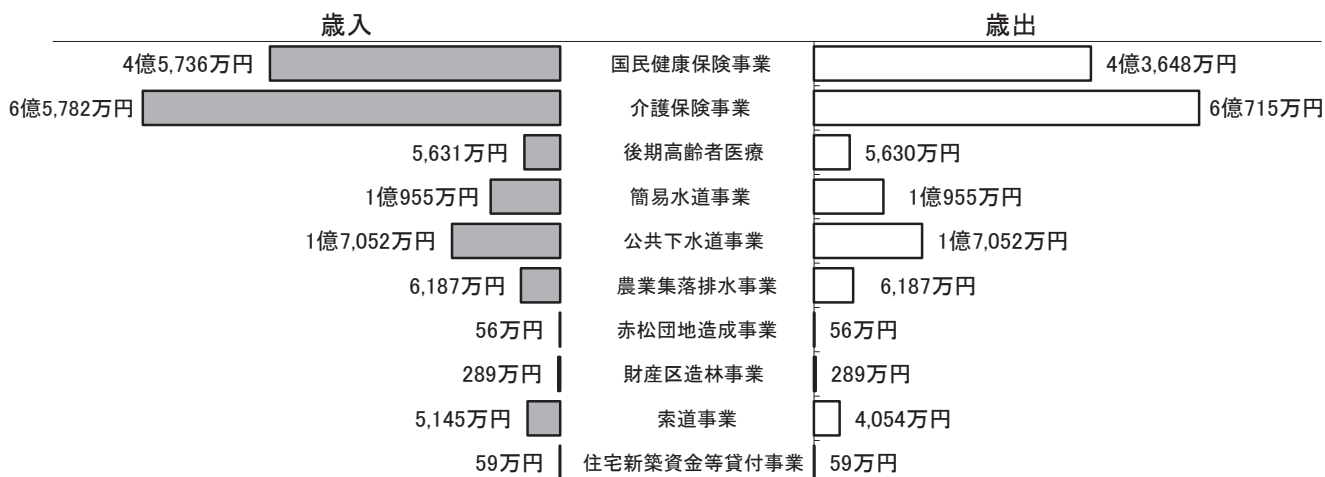


◆令和3年度一般会計決算

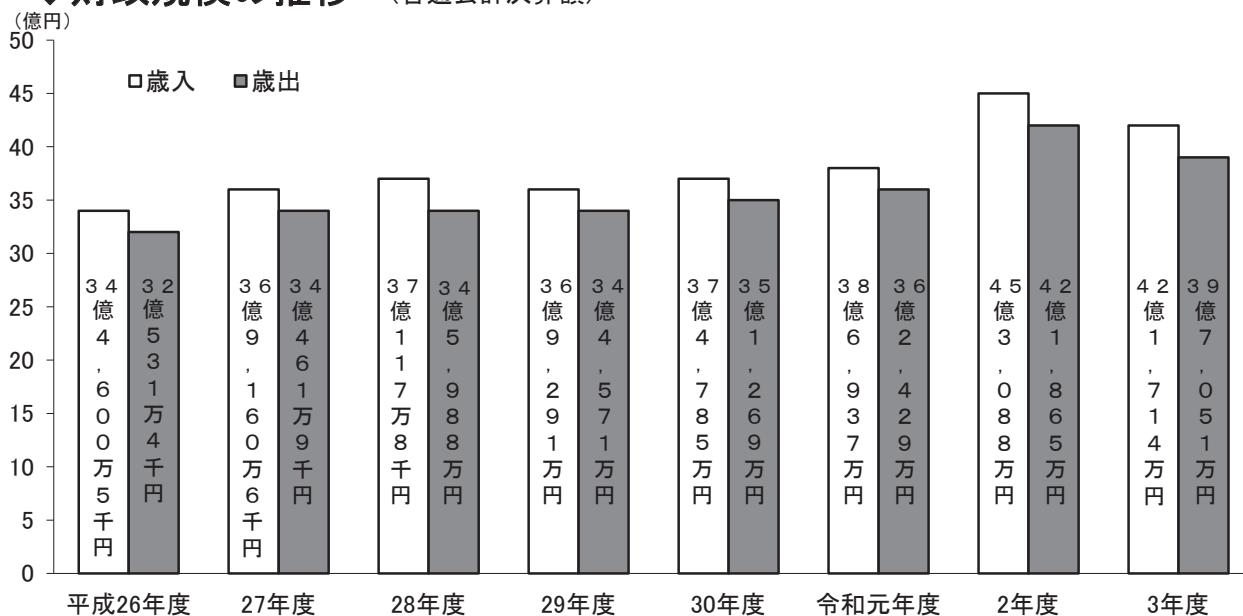


■財 政

◆令和3年度特別会計決算



◆財政規模の推移 (普通会計決算額)



■ 産 業

◆ 産業別就業人口の推移

資料: 国勢調査

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	
昭和50年	956人(24.5%)	1,451人(37.2%)	1,479人(37.9%)	分類不能 19人(0.4%)
昭和55年	730人(19.1%)	1,576人(41.3%)	1,510人(39.6%)	分類不能 10人(0.3%)
昭和60年	676人(19.2%)	1,432人(40.6%)	1,417人(40.1%)	分類不能 3人(0.1%)
平成 2年	562人(17.3%)	1,329人(41.0%)	1,347人(41.6%)	分類不能 3人(0.1%)
平成 7年	629人(20.5%)	1,200人(39.1%)	1,236人(40.3%)	分類不能 1人(0.0%)
平成12年	409人(16.2%)	946人(37.4%)	1,171人(46.4%)	
平成17年	333人(16.1%)	660人(32.0%)	1,066人(51.7%)	分類不能 4人(0.2%)
平成22年	195人(11.6%)	538人(32.2%)	940人(56.2%)	
平成27年	198人(13.0%)	433人(28.3%)	886人(58.0%)	分類不能 11人(0.7%)
令和2年	170人(12.3%)	362人(26.2%)	833人(60.4%)	分類不能 14人(1.0%)

◆ 産業別就業者数

資料: 令和2年国勢調査

産 業 別	就業者数(人)			構成比(%)		
	総数	男	女	総数	男	女
第 1 次 産 業	170	116	54	12.3	8.4	3.9
農 業	142	92	50	10.2	6.6	3.6
林 業	27	23	4	2.0	1.7	0.3
漁 業	1	1	0	0.1	0.1	0.0
第 2 次 産 業	362	229	133	26.2	16.6	9.6
鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	0	0.0	0.0	0.0
建設業	96	91	5	7.0	6.6	0.4
製造業	266	138	128	19.2	10.0	9.2
第 3 次 産 業	833	393	440	60.4	28.4	32.0
電気・ガス・熱供給・水道業	6	5	1	0.4	0.3	0.1
運輸・郵便・情報通信業	55	43	12	4.0	3.1	0.9
卸売・小売業・飲食店・宿泊業	249	109	140	18.1	7.9	10.2
金融・保険業	19	3	16	1.4	0.2	1.2
不動産・物品賃貸業	6	4	2	0.4	0.3	0.1
サービス業	417	174	243	30.2	12.6	17.6
公務(他に分類されないもの)	81	55	26	5.9	4.0	1.9
分類不能の産業	14	5	9	1.0	0.4	0.6

■商工業

◆事業所の状況

資料：事業所・企業統計（平成21年より経済センサスに統合）

	年	総 数	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸売・小売業 飲食店 宿泊業	金 融 保険業	不動産業	サービ ス 業	公務（※） （他に分類さ れないもの）
事業所数	平成 3 年	363	3	46	55	2	11	138	3	2	97	6
	" 8 年	319	2	37	44	2	10	123	3	1	90	7
	" 13 年	267	2	25	28	1	10	107	4	1	82	7
	" 18 年	222	2	19	24	1	7	84	4	5	69	7
	" 21 年	210	3	18	24	0	10	74	4	6	62	9
	" 24 年	168	3	15	20	0	6	67	4	5	51	－
	" 26 年	185	6	15	18	0	5	67	4	4	57	9
	" 28 年	157	4	15	23	0	3	65	4	3	40	－
従業者数	平成 3 年	2,023	27	208	819	10	9	406	27	9	430	78
	" 8 年	1,666	3	199	589	9	8	351	24	2	375	106
	" 13 年	1,393	5	164	379	3	54	303	21	1	378	85
	" 18 年	1,115	2	99	281	3	28	252	15	6	357	72
	" 21 年	1,077	4	96	241	0	46	252	18	16	328	76
	" 24 年	829	18	77	185	0	45	209	16	13	281	－
	" 26 年	1,020	19	97	170	0	36	253	17	14	320	94
	" 28 年	846	15	81	245	0	23	208	17	10	236	－

※平成 24・28 年は集計なし

◆商業・工業の状況

商業の状況

資料：商業統計（平成 26 年で廃止）

年	商店数	従業者数	年間販売額（百万円）	備考
昭和 57 年	136	312	2,934	
" 60 年	120	320	2,963	
" 63 年	119	310	3,134	
平成 3 年	120	306	3,299	
" 6 年	112	297	3,565	
" 9 年	98	241	3,232	
" 11 年	90	249	2,811	（簡易調査）
" 14 年	80	231	2,209	
" 16 年	71	215	2,284	（簡易調査）
" 19 年	56	163	1,879	
" 26 年	41	141	1,314	

工業の状況

資料:工業統計(令和2年で廃止)

年	事業 所数	従業者数(人)			製造品出荷額等(万円)		
		総数	男	女	総数	製造品出荷額	加工賃収入
平成 18 年	12	272	113	159	364,893	245,621	119,272
" 19 年	12	277	115	162	357,557	234,817	121,064
" 20 年	13	266	115	151	336,510	214,525	119,725
" 21 年	12	240	98	142	255,944	164,525	90,740
" 22 年	12	255	104	151	323,261	211,415	109,738
" 23 年	11	175	65	110	175,427	142,296	30,921
" 24 年	13	219	97	122	223,849	176,851	45,228
" 25 年	13	228	103	125	242,340	190,649	47,691
" 26 年	13	233	107	126	260,652	199,032	49,664
" 29 年	13	241	118	123	280,865	239,863	28,608
" 30 年	14	258	128	130	302,445	235,850	54,171
令和元年	13	247	126	121	312,206	251,139	48,241
" 2 年	13	230	119	111	292,520	235,263	43,202

※平成 27 年は平成 28 年が経済センサス - 活動調査に伴い工業統計は中止

■農林業

◆エゴマ生産組合員数の状況

資料:経済産業課

平成 30 年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
35 人	40 人	37 人	37 人	31 人

◆エゴマの栽培及び生産の状況

資料:経済産業課

区分 年次	栽培面積(m ²)	出荷面積	収量(kg)	反収(kg/10a)
令和元年	77,878	—	2,198.39	30.02
" 2 年	53,400	44,010	728.02	16.54
" 3 年	46,650	46,610	613.07	13.15
" 4 年	41,386	40,223	964.63	23.98

◆農家数及び経営規模の状況(※)

資料：農林業センサス

区分 年次	農家 戸数 (戸)	農家 人口 (人)	専業・兼業別内訳				経営耕地規模内訳				
			専業 (戸)	第1種 兼業 (戸)	第2種 兼業 (戸)	自給的 農家 (戸)	30a 未満 (戸)	30a～ 50a 未満 (戸)	50a～ 1ha 未満 (戸)	1ha～ 1.5ha 未満 (戸)	1.5ha 以上 (戸)
1990 年農林業センサス	651	2,800	69	41	541	—	224	194	202	25	6
1995 年農業センサス	603	2,579	41	42	304	216	221	179	168	25	8
2000 年農林業センサス	536	2,188	67	13	248	208	211	159	141	19	6
2005 年農林業センサス	483	1,747	69	6	209	199	202	134	116	20	11
2010 年農林業センサス	397	877	62	8	167	160	163	91	110	18	15
2015 年農林業センサス	346	585	72	13	100	161	161	71	81	16	17

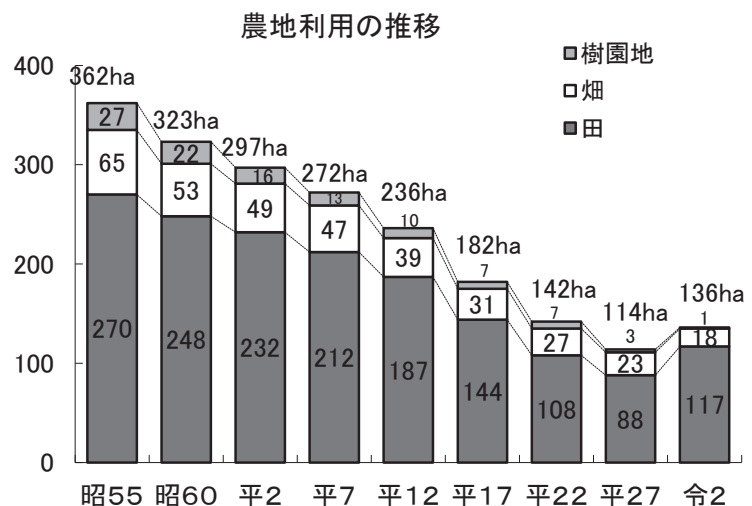
区分 年次	農家数 (戸)	農家の内訳		農業系 経営体 人口 (人)	農業 経営 体数 (経営体)	農業経営体の内訳				経農耕地規模内訳				
		販売 農家 (戸)	自給的 農家 (戸)			主 業 経営体 (経営体)	準主業 経営体 (経営体)	副業的 経営体 (経営体)	組 織 経営体 (経営体)	30a 未満 (経営体)	30a～ 50a 未満 (経営体)	50a～ 1ha 未満 (経営体)	1ha～ 1.5ha 未満 (経営体)	1.5ha 以上 (経営体)
2020 年農林業センサス	257	122	135	310	129	9	13	100	7	7	43	50	14	15

◆農業経営体数・収穫面積(※)

資料：2020 年農林業センサス

区 分	経営耕地 総 面 積	田
		田のある 経営体数
経営体数	—	117
面積 (ha)	136	117

区 分	畑	樹園地
	畑のある 経営体数	樹園地 のある 経営体数
経営体数	78	7
面積 (ha)	18	1



※2020 年農林業センサスより集計方法が変更となり、一部の項目で単位が「戸数」から「経営体数」に変更となっています。

◆基幹的農業従事者数

資料：2020 年農林業センサス

区 分	計		15～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75 歳 以上
			男	女	男	女	男	女	男	女	男
自営農業に主として 従事した世帯員数(人)	143		0	0	1	3	4	3	18	18	45
			0	0	0	1	1	2	11	12	24

◆保有山林面積規模別経営体数

資料：2020 年農林業センサス

	計	保有 山林 なし	5ha 未満	5～10ha	10～30ha	30～50ha	50～100ha	100～500ha	500ha 以上
経営体数	47	1	10	13	7	4	2	8	2

■保 健

◆国民健康保険の状況

資料：国民健康保険事業年報

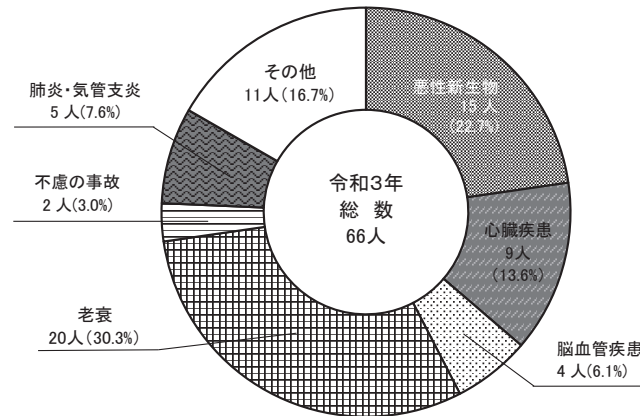
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
被 保 険 者 世 帯(世帯)	527	511	492	481	473	471
被 保 険 者 数(人)	830	792	741	714	695	685
保 険 税 額(千円)	70,417	67,459	62,285	64,890	62,919	60,178
1世帯当たり税額(円)	133,619	132,014	126,596	134,907	133,021	127,767
1人当たり税額(円)	84,840	85,176	84,055	90,882	90,531	87,851
医 療 費 総 額(千円)	374,905	339,238	329,226	368,395	357,209	363,508
1世帯当たり医療費(円)	711,395	663,871	669,159	765,894	755,199	771,779
1人当たり医療費(円)	451,693	428,331	444,300	515,959	513,970	530,669

◆死亡原因別推移

(単位：人)

年	病名	悪 性 新生物	心 臓 疾 患	脳血管 疾 患	老 衰	不慮の 事 故	肺 炎 気管支炎	肝硬変	その他
平成28年		23	8	10	14	0	14	1	5
" 29年		17	12	3	12	0	10	3	9
" 30年		20	12	7	13	1	10	1	3
令和元年		12	11	3	17	1	15	0	12
" 2年		15	6	7	15	1	9	0	12
" 3年		15	9	4	20	2	5	0	11

※わかさ・あすなろ入所者で、町外からの転入者は、統計に含まない。



◆がん検診実施状況

(実績による)

区分 年度	胃がん検診			肺がん検診			大腸がん検診			子宮がん検診			乳がん検診		
	対象人員 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象人員 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象人員 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象人員 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象人員 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
平成28年度	1,539	470	30.5	1,539	546	35.5	1,539	647	42.0	941	286	30.4	908	184	20.2
" 29年度	1,539	597	38.8	1,539	675	43.9	1,539	624	40.5	941	309	32.8	908	143	15.7
" 30年度	1,539	624	40.5	1,539	731	47.5	1,539	629	40.9	941	295	31.3	908	173	19.1
令和元年度	1,539	661	42.9	1,539	862	56.0	1,539	648	42.1	941	302	32.1	908	194	21.4
" 2年度	1,539	648	42.1	1,539	824	53.5	1,539	627	40.7	941	287	30.5	908	166	18.3
" 3年度	1,539	605	39.3	1,539	778	50.6	1,539	540	35.1	941	259	27.5	908	162	17.8

※子宮がん検診対象者：20歳以上女性 乳がん検診対象者：40歳以上女性(隔年)

■衛 生

◆し尿処理状況

資料：一般廃棄物処理事業等実態調査(令和3年10月1日時点)

区分 年度	処理計画		処 理 量		計 (kℓ)
	人 口(人)	総排出量(kℓ)	施設処理(kℓ)	し尿浄化槽(kℓ)	
平成 24 年度	3,837	416	108	416	524
" 25 年度	3,720	445	126	359	485
" 26 年度	3,619	416	144	291	435
" 27 年度	3,520	411	126	360	486
" 28 年度	3,455	398	153	207	360
" 29 年度	3,365	385	106	213	319
" 30 年度	3,279	375	224	193	417
令和元年度	3,149	363	156	239	395
" 2 年度	3,072	356	247	142	389
" 3 年度	2,975	343	133	224	357

◆ごみ処理状況

資料：一般廃棄物処理事業等実態調査(令和3年10月1日時点)

区分 年度	処理計画		総収集量		計 (t)
	人 口(人)	総排出量(t)	可燃ごみ(t)	不燃ごみ(t)	
平成 24 年度	3,837	960	637	134	771
" 25 年度	3,720	940	611	134	745
" 26 年度	3,619	918	611	130	741
" 27 年度	3,520	896	666	131	797
" 28 年度	3,455	875	607	128	735
" 29 年度	3,365	857	609	126	735
" 30 年度	3,279	828	592	126	718
令和元年度	3,149	805	582	124	706
" 2 年度	3,072	729	562	130	692
" 3 年度	2,975	588	548	118	666

■教 育

◆若桜学園の児童・生徒数

資料：学校基本調査(令和4年5月1日時点)

学校名	学級数	教職員数	児 童 ・ 生 徒 数		
			計	男	女
若 桜 学 園 小 学 校	7	18	77	44	33
若 桜 学 園 中 学 校	4	18	39	17	22
合 計	11	36	116	61	55

■ 建設

◆ 道路の状況

国道

(令和4年4月1日現在)

路線名	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)	改良延長(m)	改良率(%)
29号	18,325	18,325	100.0	18,325	100.0
482号	13,365	13,365	100.0	12,202	91.3

県道

(令和4年4月1日現在)

路線名	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)	改良延長(m)	改良率(%)
若桜湯村温泉線	12,130	12,045	99.3	10,857	89.5
若桜下三河線	5,299	5,299	100.0	4,999	94.3
若桜停車場線	985	985	100.0	985	100.0

町道

(令和4年4月1日現在)

実延長	舗装延長	舗装率	改良延長	改良率	未改良のうち、自動車交通不能
70,677 m	50,164 m	70.9%	44,614 m	63.1%	2,687 m

橋梁(町道)(令和4年4月1日現在)

数	延長
88	1,338 m

◆ 簡易水道及び飲料水供給施設

資料:水道統計(令和4年4月1日現在)

施設名	給水区域内 現在人口	計画一日 最大給水量	年間 有収水量	原水の 種別	竣工年月
若桜	1,695 人	2,525 m ³	226,128 m ³	浅・表 5:5	昭和 34 年 3 月
吉川	144	86	16,050	深	32 年 5 月
小船	83	63	8,074	浅	39 年 3 月 (統合平成 29 年 3 月)
栃原	38	30	3,563	浅	29 年 8 月 (統合平成 29 年 3 月)
中原	80	79	11,091	表	39 年 3 月 (統合平成 29 年 3 月)
巻米	83	116	16,255	湧	32 年 8 月
洲見・湯原・長砂・香田	110	50	8,563	浅	平成 30 年 6 月 (統合平成 30 年 6 月)
諸鹿	30	57	2,742	伏	昭和 36 年 3 月
岩屋堂	35	40	3,919	〃	44 年 3 月
糸白見	99	90	8,818	〃	45 年 3 月
落折	34	25	2,858	〃	48 年 11 月
屋堂羅	103	50	9,074	浅	52 年 12 月
須澄	54	25	5,793	〃	56 年 4 月
赤松	106	164	7,074	深	平成 10 年 4 月
大野	62	54	5,149	浅	12 年 4 月
大炊・岸野	66	64	3,017	深	19 年 4 月
計	2,668	3,518	338,168		

(浅=浅井戸、表=表流水、伏=伏流水、湧=湧水、深=深井戸)

■交通・防災・消防

◆町内交通事故発生状況

年	区分	件 数		死 者	傷 者
		人 身	物 損	(人)	(人)
平成 22 年		6	94	0	7
" 23 年		6	79	0	10
" 24 年		5	71	0	8
" 25 年		2	56	0	2
" 26 年		1	75	0	1
" 27 年		3	71	0	5
" 28 年		2	52	0	3
" 29 年		2	59	0	2
" 30 年		2	54	0	2
令和 元年		0	37	0	0
" 2 年		1	42	0	1
" 3 年		0	42	0	0

◆近年の主な災害 国庫補助分

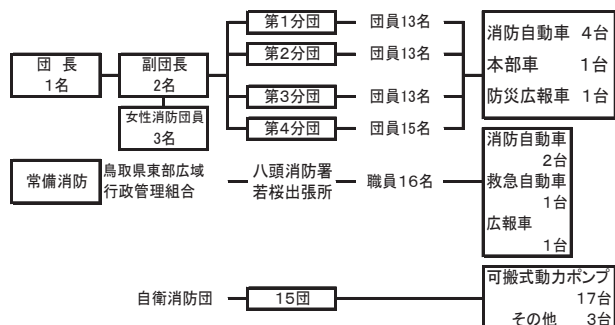
(単位:千円)

年 月 日	種 類	概 況	被害総額
平成10. 10. 17～10. 18	台風 10 号豪雨	・農業用施設災害…41,177 ・農地災害…8,639 ・林道施設災害…64,454	114,270
12. 7. 24～ 7. 25	7月豪雨	・農地災害…2,264	2,264
12. 9. 10～ 9. 12	秋雨前線豪雨	・農地災害…3,547	3,547
12. 11. 1～11. 2	秋雨前線豪雨	・農業用施設災害…13,434	13,434
13. 7. 17～ 7. 18	秋雨前線豪雨	・農地災害…739	739
14. 7. 16	台風7号豪雨	・農地災害…820	820
15. 8. 25	8月 25 日豪雨	・農業用施設災害…867 ・農地災害…455	1,322
16. 8. 4	台風 11 号	・農地災害…4,238	4,238
16. 10. 20～10. 21	台風 23 号	・農業用施設災害…8,506 ・農地災害…958 ・林道施設災害…8,508	17,972
17. 9. 6～ 9. 7	台風 14 号	・農業用施設災害…820 ・農地災害…788	1,608
18. 7. 15～ 7. 19	梅雨前線豪雨	・農業用施設災害…34,595 ・農地災害…1,166	35,761
19. 8. 22～ 8. 23	8月豪雨	・農業用施設災害…17,080 ・農地災害…13,248 ・林道施設災害…27,481	57,809
30. 7. 5～ 7. 7	梅雨前線豪雨	・公共土木施設災害…13,409 ・農地災害…28,070 ・農業用施設…15,132 ・林業用施設…239,809	296,420

◆消防水利の状況

	防火水槽	消火栓	その他の水利
令和3年	40	410	43

◆公設消防団



◆出火件数

年	出火件数(件)	損害額(千円)
平成 20 年	0	0
" 21 年	2	124
" 22 年	2	2,861
" 23 年	4	2,339
" 24 年	2	190
" 25 年	1	126
" 26 年	1	0
" 27 年	4	33,539
" 28 年	4	1,053
" 29 年	1	4,361
" 30 年	2	39
令和元年	0	0
" 2 年	1	701
" 3 年	0	0
" 4 年	0	0

■福 祉

◆生活保護の状況

(令和4年4月1日時点)

保護率 (%)	被保護人員 (人)	被保護世帯数と世帯類型別構成割合					
		総数 (世帯)	高齢者世帯 (世帯)	母子世帯 (世帯)	障がい者世帯 (世帯)	傷病者世帯 (世帯)	その他世帯 (世帯)
0.83	24	22	13	0	2	0	7

生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	介護扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助
17 人	9 人	0 人	19 人	4 人	0 人	0 人	0 人

◆こども園の状況

(令和4年4月1日時点)

施設名	収容定員 (人)	収容実人員(人)			職員数 (人)
		男	女	計	
わかさこども園	75	31	20	51	17
うち広域入所	—	1	0	1	—
1号認定	15	5	2	7	—
2号認定	60	14	8	22	—
3号認定		12	10	22	—

1号認定: 満3歳以上児で教育を希望する場合

2号認定: 満3歳以上児で保育を希望する場合

3号認定: 満3歳未満児で保育を希望する場合

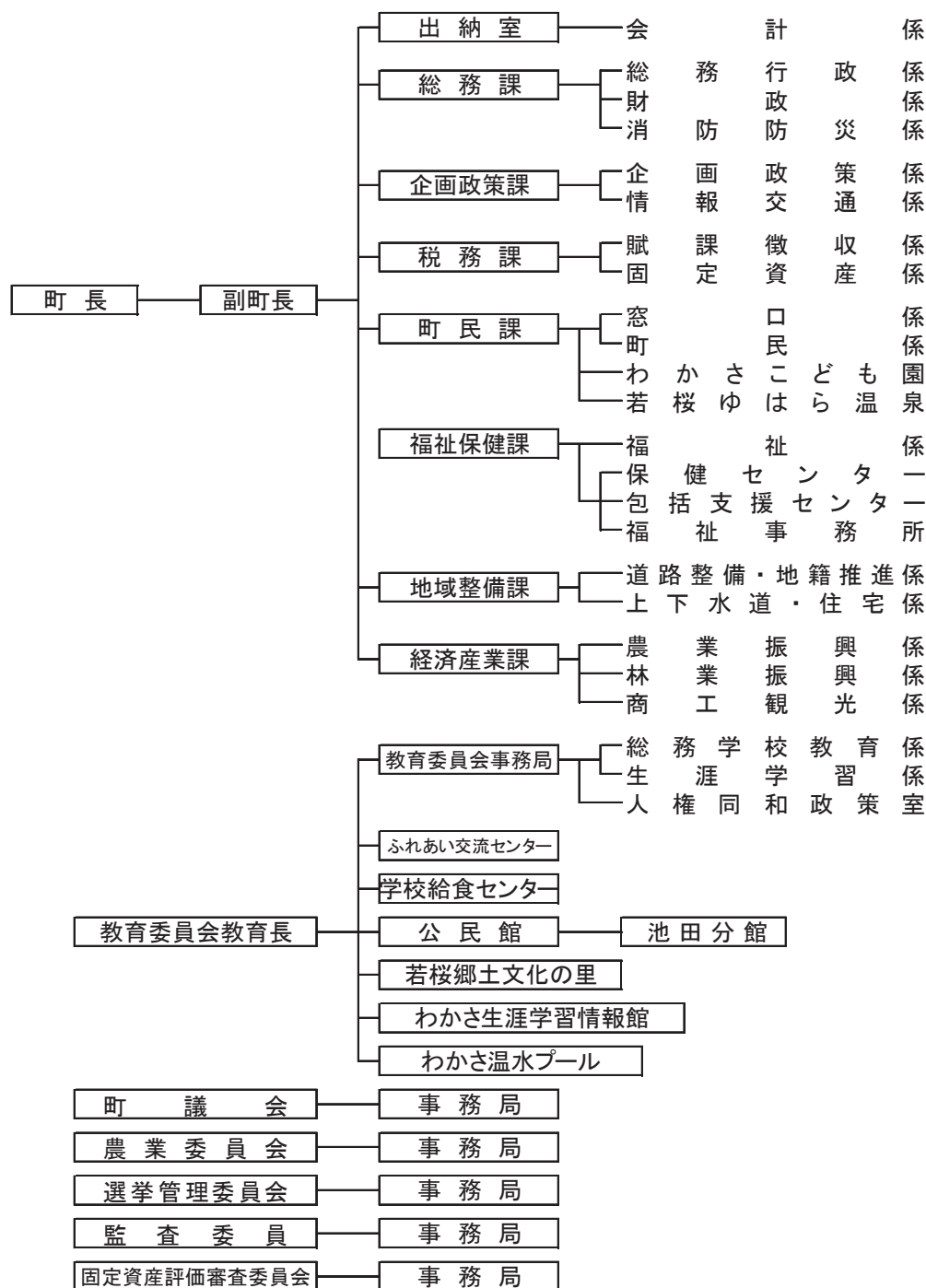
■文 化

◆文化財の名称及び所在地

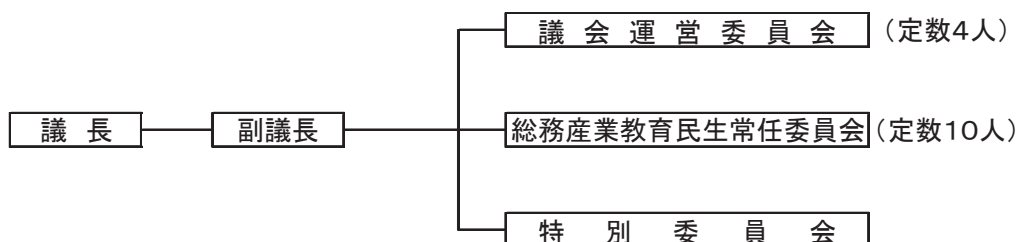
指 定 の 種 類	文 化 財 な どの 名 称	所 在 地	指 定 年 月 日
国指定重要文化財	不動院岩屋堂	若桜町大字岩屋堂	昭和 28 年 11 月 14 日
〃 特別天然記念物	オオサンショウウオ	地域を定めず	昭和 27 年 3 月 29 日
〃 天然記念物	イヌワシ	〃	昭和 40 年 5 月 12 日
〃	ヤマネ	〃	昭和 50 年 6 月 26 日
〃 史跡	若桜鬼ヶ城跡	若桜町大字若桜・三倉	平成 20 年 3 月 28 日
〃 重要無形民俗文化財	因幡・但馬の麒麟獅子舞	若桜町大字若桜	令和 2 年 3 月 16 日
国選定重要伝統的建造物群保存地区	若桜町若桜	〃	令和 3 年 8 月 2 日
国登録有形文化財	若桜橋	若桜町大字若桜・浅井	平成 19 年 12 月 19 日
〃	若桜鉄道若桜駅本屋及び プラットホームほか 8 件	若桜町大字若桜	平成 20 年 7 月 23 日
〃	木島家住宅主屋	〃	平成 26 年 10 月 7 日
県指定名勝	西方寺庭園	〃	平成 28 年 4 月 26 日
県指定天然記念物	中江の一本スギ	若桜町大字中原	昭和 48 年 3 月 30 日
〃	若桜神社社叢	若桜町大字若桜	昭和 57 年 4 月 9 日
〃	氷ノ山のキャラボク群落	〃 菴米	平成 27 年 1 月 23 日
県指定保護文化財	木造金剛界大日如来坐像	(県立博物館保管)	昭和 34 年 6 月 5 日
〃	木造胎蔵界大日如来坐像	〃	〃
〃	三百田氏住宅(附一代普請 方合力人数帳一冊)	若桜町大字屋堂羅	昭和 39 年 3 月 3 日
町指定有形文化財	若桜町歴史民俗資料館	若桜町大字屋堂羅	昭和 62 年 4 月 21 日
〃	無動山永福寺の山門	〃	〃
〃	岩屋堂の納骨壺入五輪塔	〃 岩屋堂	〃
〃	長砂与五郎の五輪塔	〃 長砂	〃
〃	伊勢道の道標	〃 若桜	〃
〃	〃	〃 湊見	〃
〃	〃	〃 菴米	〃
〃	〃	〃 〃	〃
〃	石碑(忠魂碑)	〃 若桜	平成 12 年 10 月 13 日
〃	浅井御番所日記	〃 〃	平成 27 年 6 月 1 日
〃	諸鹿村御検地帳	〃 若桜・諸鹿	平成 27 年 6 月 1 日
町指定天然記念物	氷ノ山山頂のキャラボク	〃 菴米	平成 16 年 6 月 23 日
町指定無形民俗文化財	若桜神社大祭	〃 若桜	平成 27 年 6 月 1 日

■行政・議会

◆行政機構図(令和4年7月1日時点)職員数75人



◆町議会組織(令和4年4月1日時点)定数10人



行政・議会

◆歴代町長

氏 名	期 間	住 所
君野 秀三	昭和 29 年 3 月 23 日～ 昭和 41 年 3 月 22 日	上 町
木島 節夫	昭和 41 年 3 月 23 日～ 昭和 45 年 3 月 22 日	上 町
武田 吉造	昭和 45 年 3 月 23 日～ 昭和 61 年 3 月 22 日	湯 原
竹本 憲治	昭和 61 年 3 月 23 日～ 平成 2 年 8 月 10 日 平成 2 年 8 月 26 日～ 平成 6 年 1 月 2 日	湯 原
盛田 可男	平成 6 年 2 月 20 日～ 平成 10 年 2 月 19 日	西 町
宮本 義雄	平成 10 年 2 月 20 日 平成 18 年 2 月 19 日	小 船
小林 昌司	平成 18 年 2 月 20 日～ 平成 30 年 2 月 19 日	屋堂羅
矢部 康樹	平成 30 年 2 月 20 日～ 令和 4 年 2 月 19 日	上 町
上川 元張	令和 4 年 2 月 20 日～ 現在	下 町

◆歴代副町長

氏 名	期 間	住 所
山本 義紀	平成 22 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	内 町
盛田 聖一	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	西 町
川戸 伸二	令和 4 年 4 月 1 日～ 現在	来見野

◆歴代収入役

氏 名	期 間	住 所
伊井野邦男	昭和 29 年 3 月 1 日～ 昭和 36 年 9 月 14 日	屋堂羅
武田 吉造	昭和 36 年 10 月 7 日～ 昭和 44 年 11 月 11 日	湯 原
永原 進	昭和 45 年 4 月 14 日～ 昭和 53 年 4 月 13 日	中 原
中田 勲	昭和 53 年 4 月 14 日～ 昭和 61 年 4 月 13 日	須 澄
山根多喜男	昭和 61 年 4 月 14 日～ 昭和 63 年 12 月 19 日	吉 川
福田 保一	平成 2 年 4 月 14 日～ 平成 10 年 4 月 13 日	須 澄

※平成 10 年 4 月 14 日からは職務代理

◆歴代助役

氏 名	期 間	住 所
中田 邦雄	昭和 29 年 4 月 1 日～ 昭和 41 年 3 月 31 日	須 澄
藤原 惣次	昭和 41 年 4 月 11 日～ 昭和 45 年 4 月 10 日 昭和 45 年 4 月 14 日～ 昭和 49 年 4 月 13 日	大 野
竹本 善蔵	昭和 49 年 4 月 14 日～ 昭和 61 年 4 月 13 日	中 町
坂口 二郎	昭和 61 年 4 月 14 日～ 平成 2 年 4 月 13 日	小 船
杉内 秀行	平成 2 年 4 月 14 日～ 平成 10 年 2 月 19 日	須 澄
山根 到	平成 10 年 5 月 18 日～ 平成 13 年 3 月 31 日	糸白見
中島 弘	平成 13 年 4 月 1 日～ 平成 16 年 3 月 31 日	鳥取市雲山
内田 克彦	平成 16 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 3 月 31 日	山田町

◆歴代教育長

氏 名	期 間	住 所
中田 邦雄	昭和 29 年 10 月 1 日～ 昭和 32 年 3 月 31 日	須 澄
永原 泰蔵	昭和 32 年 4 月 1 日～ 昭和 42 年 5 月 31 日	中 原
表 誠治	昭和 42 年 7 月 4 日～ 昭和 50 年 5 月 1 日	中 町
隈田 邦男	昭和 50 年 6 月 18 日～ 昭和 58 年 8 月 3 日	中 原
坂口 二郎	昭和 58 年 9 月 1 日～ 昭和 61 年 4 月 13 日	小 船
藤原 義廣	昭和 61 年 4 月 17 日～ 平成 4 年 9 月 30 日	西 町
岡崎 正雄	平成 4 年 10 月 1 日～ 平成 12 年 9 月 30 日	糸白見
小林 昌司	平成 12 年 10 月 1 日～ 平成 17 年 9 月 30 日	屋堂羅
植嶋 莊司	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 24 年 3 月 31 日	湊 見
高木 政寛	平成 24 年 4 月 2 日～ 平成 28 年 9 月 30 日	農人町
新川 哲也	平成 28 年 10 月 4 日～ 現在	中 原

■行政・議会

◆歴代議長

氏 名	期 間	住 所
武田市三郎	昭和 29 年 3 月 31 日～ 昭和 31 年 11 月 26 日	湯 原
熊田資治良	昭和 31 年 11 月 26 日～ 昭和 33 年 3 月 5 日	中 町
木島 節夫	昭和 33 年 3 月 14 日～ 昭和 37 年 3 月 8 日 昭和 37 年 3 月 12 日～ 昭和 41 年 2 月 25 日	上 町
竹本 憲治	昭和 41 年 3 月 11 日～ 昭和 45 年 3 月 8 日 昭和 45 年 3 月 11 日～ 昭和 47 年 9 月 29 日	湯 原
長尾 義男	昭和 47 年 9 月 29 日～ 昭和 49 年 3 月 8 日	来見野
竹本 憲治	昭和 49 年 3 月 12 日～ 昭和 53 年 2 月 19 日	湯 原
上田 郁夫	昭和 53 年 3 月 11 日～ 昭和 55 年 3 月 14 日	吉 川
岩本 敏光	昭和 55 年 3 月 14 日～ 昭和 57 年 3 月 8 日	西 町
盛田 一男	昭和 57 年 3 月 12 日～ 昭和 61 年 3 月 8 日	西 町
宮本 義雄	昭和 61 年 3 月 11 日～ 平成 2 年 3 月 8 日 平成 2 年 3 月 12 日～ 平成 4 年 7 月 2 日	小 船
武田 修	平成 4 年 7 月 2 日～ 平成 6 年 3 月 8 日	湯 原
中尾 久雄	平成 6 年 3 月 11 日～ 平成 10 年 3 月 8 日 平成 10 年 3 月 11 日～ 平成 14 年 3 月 8 日	根 安
谷川 輝久	平成 14 年 3 月 11 日～ 平成 18 年 3 月 8 日 平成 18 年 3 月 11 日～ 平成 22 年 3 月 8 日	西 町
岡本 和廣	平成 22 年 3 月 10 日～ 平成 26 年 3 月 8 日	糸白見
川上 守	平成 26 年 3 月 10 日～ 平成 30 年 3 月 8 日 平成 30 年 3 月 9 日～ 令和 2 年 3 月 9 日 令和 2 年 3 月 9 日～ 令和 4 年 3 月 8 日	高 野
山根 政彦	令和 4 年 3 月 9 日～ 現在	巻 米

◆歴代副議長

氏 名	期 間	住 所
田中 藤録	昭和 29 年 3 月 31 日～ 昭和 31 年 12 月 5 日	吉 川
門河 近蔵	昭和 31 年 12 月 19 日～ 昭和 33 年 3 月 5 日	中 原
吉田 秋市	昭和 33 年 3 月 14 日～ 昭和 37 年 3 月 8 日	吉 川
藤原 惣次	昭和 37 年 3 月 12 日～ 昭和 41 年 3 月 8 日	大 野
山本 茂美	昭和 41 年 3 月 11 日～ 昭和 45 年 3 月 8 日	栃 原
田中亀代治	昭和 45 年 3 月 11 日～ 昭和 47 年 9 月 29 日	須 澄
永原 泰蔵	昭和 47 年 9 月 29 日～ 昭和 49 年 3 月 8 日 昭和 49 年 3 月 12 日～ 昭和 53 年 3 月 8 日	中 原
西本 稔	昭和 53 年 3 月 11 日～ 昭和 55 年 3 月 14 日	屋堂羅
巻井 明	昭和 55 年 3 月 14 日～ 昭和 57 年 3 月 8 日	農人町
中尾潤一郎	昭和 57 年 3 月 12 日～ 昭和 61 年 3 月 8 日	下 町
上川 豊己	昭和 61 年 3 月 11 日～ 平成 2 年 3 月 8 日	来見野
中尾 久雄	平成 2 年 3 月 12 日～ 平成 4 年 7 月 2 日	根 安
谷川 輝久	平成 4 年 7 月 2 日～ 平成 6 年 3 月 8 日	西 町
山本 重幸	平成 6 年 3 月 11 日～ 平成 10 年 1 月 15 日	栃 原
津崎 信良	平成 10 年 3 月 11 日～ 平成 14 年 3 月 8 日	新 町
川戸 稔	平成 14 年 3 月 11 日～ 平成 14 年 6 月 27 日	来見野
湯川 宏通	平成 14 年 7 月 22 日～ 平成 18 年 3 月 8 日	上 町
坂本 等	平成 18 年 3 月 11 日～ 平成 22 年 3 月 8 日	吉 川
藤原 源市	平成 22 年 3 月 10 日～ 平成 26 年 3 月 8 日	西 町
小林 誠	平成 26 年 3 月 10 日～ 平成 30 年 3 月 8 日	長 砂
前住 孝行	平成 30 年 3 月 9 日～ 令和 2 年 3 月 9 日	若葉団地
山本 晴隆	令和 2 年 3 月 9 日～ 令和 4 年 3 月 8 日	岩屋堂
小林 誠	令和 4 年 3 月 9 日～ 現在	長 砂

■合併後のあゆみ

昭和 29・30 年代

- 昭和 29. 3. 1 旧若桜町旧池田村合併・新生若桜町誕生
- 昭和 30. 4. 2 吉川小学校竣工
- 5. 5 若桜保育所開設
- 8. 29 戸倉トンネル開通式
- 昭和 31. 3. 19 中原保育所認可
- 昭和 32. 4. 1 統合若桜中学校発足(生徒数535人)
- 昭和 33. 10. 1 町章制定
- 昭和 34. 7. 6 母子健康センター開所
- 昭和 37. 1. 25 役場庁舎落成式
町営火葬場建設
- 昭和 38. 5. 県と町村行政無線開通

昭和 40 年代

- 昭和 40. 9. 29 若桜小学校校舎完成竣工式
- 昭和 41. 8. 学校給食センターの建設
- 昭和 43. 8. 町民プール完成
- 11. 町の木「桜」を選定
- 昭和 44. 1. 高野隣保館建設
- 3. 6 社会福祉法人「町社会福祉協議会」発足
- 12. 若桜中学校寄宿舎完成
- 昭和 45. 4. 1 吉川小学校を若桜小学校に統合
- 〃 池田小学校落折分校を季節間分校へ
- 昭和 46. 7. 31 若桜・池田森林組合合併
- 昭和 47. 4. 1 若桜小学校諸鹿分校を季節間分校へ
- 5. 15 岩屋堂出張所を閉鎖
- 昭和 49. 3. 若桜小学校創立100周年記念式典
- 7. 30 若桜町土地開発公社設立
- 9. 11 国道29号岩屋堂バイパス完成
- 10. 1 若桜駅の貨物廃止
- 〃 峯越林道、中江・大通線完成
- 11. 9 山村開発センター完成
- 11. 23 若桜地区婦人の会結成大会

昭和 50 年代

- 昭和 50. 5. 11 第1回若桜氷ノ山中高齢者全国マラソン大会
- 7. 14 池田小学校創立100周年記念式典
- 昭和 51. 4. 26 町営塵芥処理場完成
- 昭和 52. 4. 1 浅井自治会集落から若葉団地が独立(町営住宅19戸建設)
- 6. 1 氷ノ山県営キャンプ場がオープン
- 12. 若葉団地に町営住宅14戸を建設
- 昭和 53. 1. 5 若桜鬼ヶ城跡を町文化財に指定
- 昭和 54. 2. 18 八頭高若桜分校閉校式
- 4. 1 西河内集落(過疎地域集落移転)が西町に編入

■合併後のあゆみ

- 4. 15 町民体育館竣工式
- 11. 4 第1回若桜町林業まつり開催
- 12. 宿内融雪工事完了
- 昭和 55. 4. 若桜町保健センターがオープン
- 昭和 56. 3. 20 赤松地区ほ場整備完了
- 9. 3 上殿木橋・来見野橋・雨滝橋竣工式
- 11. 23 歴史民俗資料館がオープン
- 昭和 57. 3. 25 屋堂羅地区ほ場整備完了
- 7. 24 諸鹿河川プール完成式
- 8. 4 長砂地区ほ場整備完了
- 9. 1 バス路線再編成により町内の全路線日交バスになる
- 12. 若葉団地に県営、町営住宅10戸完成
- 昭和 58. 3. 20 上高野地区ほ場整備完了
- 5. 23 多目的集会施設完成竣工式
- 10. 14 戸倉バイパス建設期成会が発足
- 11. 30 西町に町営住宅4戸建設
- 昭和 59. 3. 1 町民憲章の制定
- 6. 町民いこいの森完成
- 6. 27 若桜保育所改築完成
- 11. 3～5 第1回若桜ふれあい祭開催

昭和 60 年代

- 昭和 61. 1. 27 中原保育所改築完成
- 昭和 62. 3. 25 大炊地区ほ場整備完了
- 5. 28 若桜南光線吉川バイパス完成
- 7. 1 一般国道29号岸野橋完成
- 8. 6 若桜鉄道株式会社設立
- 10. 13 JR若桜線廃止
- 10. 14 若桜鉄道若桜線開業
- 11. 大鹿滝遊歩道完成
- 12. 池田小学校校舎完成
- 昭和 63. 2. 28 第1回若桜氷ノ山樹氷まつり開催
- 4. 13 若桜鉄道協力会を結成
- 10. 22 第1回若桜町健康まつり開催
- 12. 3～4 第1回部落解放ふれあいまつり開催
- 12. 10 氷ノ山ログバンガロー7棟・炊事棟・便所棟が完成
- 12. 18 町営スキー場「樹氷スノーピア」オープン

昭和から平成へ

- 平成元. 3. 24 糸白見地区ほ場整備完了
- 5. 1 「若桜鉄道さくら観光」スタート
- 10. 8 日本一の大のぼり建立祭
- 11. 18 一般国道29号新戸倉トンネル着手式

■合併後のあゆみ

- 平成 2. 5. 23 屋堂羅橋竣工式
8. 7 機能回復訓練教室「ひまわりの会」開始
10. 1 若桜氷ノ山テニスコートオープン
- 平成 3. 3. 31 湯原地区ほ場整備完了
4. 30 林道オノ木谷線完成
8. 10 若桜駅前ふれあい通り完成
11. 5 一般国道29号戸倉峠道路起工式
11. 19 林道大道中江線完成
11. 30 樹氷スノーピア休憩棟完成
- 平成 4. 1. 10 住民情報オンラインサービス開始
2. 7 防災行政無線(移動系)開通式
4. 1 第5次若桜町総合計画スタート
〃 温泉開発事業(湯原地内)着手
10. 10 西町1号線歩道設置工事完成
10. 16 地域福祉センター・ドリーミー竣工式(22日オープン)
- 平成 5. 5. 20 ドリーミー横広場完成(ゲートボール場)
5. 30 林道城山線開設工事完成
7. 17 観光案内看板設置工事完成(第1期)(案内板3箇所、指示板10箇所)
10. 7 湯原地区温泉掘削安全祈願祭(掘削開始)
10. 10 集落林道農人町線開設工事完成
10. 20 広域基幹林道沖ノ山線竣工式
11. 28 「若桜のうた」完成 発表会
- 平成 6. 4. 1 若桜町公共下水道事業着手
5. 18 県指定保護文化財三百田氏住宅竣工式(屋堂羅地区へ復元移転)
5. 30 岩屋堂駐在所新築落成式
6. 若桜宿入口に観光アーチ設置
7. 21 新戸倉トンネル貫通式
10. 3 国産材加工施設作業用建物(JNウッディ若桜)新築事業着工
- 平成 7. 1. 15 雪害対策本部設置
1. 18 3分団消防車庫改築工事完成
4. 26 吉川分校改築工事完成
5. 30 中之島公園敷地造成工事完成
11. 16 盛田町長「米軍機と思われる超低空飛行訓練の中止を求める要請書」を外務省北米局に提出
12. 1 一般国道29号線新戸倉トンネル完成開通式
12. 14 わかさ氷ノ山大山観光(株)スキーリフト竣工式
- 平成 8. 2. 4 第1回西日本雪合戦大会
3. 6 たくみの館竣工式
4. 1 吉川地区農業集落排水事業着手
5. 26 高野老人憩の家竣工式
5. 27 若桜小学校菰米分校竣工式
8. 13~16 若桜小学校少女バレーボール部がライオンカップ第16回全日本小学生大会出場
9. 20 若桜小学校校舎大規模改修工事完成
10. 1 若桜鉄道八頭高校前駅設置

■合併後のあゆみ

- 10. 22 氷ノ山セミナーハウス・屋内スポーツセンター新築工事の工事安全祈願祭
- 11. 16 若桜中学校創立50周年・統合40周年記念式典
- 平成 9. 1. 7 行政改革大綱を策定
- 1. 16 若桜鉄道がペイント車両を導入
- 1. 24～30 町内各所でTBSドラマ「鳥取雛送り殺人事件」撮影
- 4. 1 池田中央地区農業集落排水事業着手
- 〃 第6次若桜町総合計画スタート
- 8. 20 山陰・夢みなと博覧会 市町村デー「若桜町の日」
- 10. 17～18 若桜鉄道開業10周年記念式典・シンポジウム・記念フェスティバル
- 11. 若桜町同和対策総合計画を策定
- 11. 14 若桜ゆはら温泉ふれあいの湯竣工式
- 11. 20 若桜町高齢者ふれあいネットワーク連絡会が発足

平成 10 年代

- 平成 10. 3. 31 若桜町移動通信鉄塔施設竣工式、町内1, 050世帯で携帯電話利用可能に
- 4. 1 若桜町公共下水道事業一部供用開始
- 〃 吉川地区農業集落排水事業供用開始
- 4. 28 中之島公園竣工式
- 6. 13 第1回氷ノ山サミット(若桜町・兵庫県大屋町・関宮町・美方町・波賀町)
- 10. 9 広留野開拓50周年記念式典
- 平成 11. 1. 若桜町行政改革推進計画「改善45」がスタート
- 3. 14 地域振興券の交付開始
- 4. 1 へき地保育所(菰米・吉川)を若桜保育所の分所に
- 〃 糸白見地区農業集落排水事業着手
- 7. 18 わかさ氷ノ山自然ふれあいの里(氷太くん、キャンプ場、響の森など)オープン
- 平成 12. 5. 29 若桜中学校改築工事竣工式
- 7. 19 若ざくらふれあい作業所開所
- 9. 25 新若葉町営住宅(1号棟)完成
- 12. 「福祉にやさしいまちづくり総合計画」を策定
- 平成 13. 4. 1 情報公開制度を施行
- 〃 湯原地区農業集落排水事業着手
- 〃 池田中央地区農業集落排水事業供用開始
- 〃 町営火葬場廃止
- 5. 1 若桜町の公式ホームページを開設
- 5. 19 介護予防施設「ゆうゆうわかさ」多目的公衆トイレ供用開始
- 12. 5 新若葉町営住宅(2号棟)完成
- 平成 14. 2. 17 若桜町議会議員一般選挙で初の女性議員誕生
- 4. 1 若桜町まちづくりビジョン(第7次若桜町総合計画)スタート
- 〃 地籍調査開始
- 5. 19 若桜氷ノ山中高齢者全国マラソン大会が28年の歴史に幕
- 7. 24 スクールバスを廃止
- 10. 12 若桜駅前多目的公衆トイレ竣工
- 11. 23 関西鳥取若桜会設立

■合併後のあゆみ

- 平成 15. 1. 10 赤松団地(全29区画)第1次分譲決定
3. 17 地域イントラネット供用開始
10. 25~26 第1回因州若桜鬼っこまつり開催
11. 2 若桜町合併50周年記念式典
12. 14 わかさ温水プールオープン
- 平成 16. 1. 1 若桜町高齢者自立支援ハウス供用開始
2. 25 82局・76局でフレッツADSL(高速インターネット)サービス提供開始
3. 11 八頭東部合併協議会からの撤退を表明
4. 20 わかさ温水プール・わかさ生涯学習情報館竣工式
6. 29 行政改革推進本部を設置
7. 1 わかさ生涯学習情報館オープン
7. 9 臨時議会で住民投票条例案が否決
8. 31 八頭東部合併協議会を廃止
12. 6 行政改革推進委員会が行政改革案の中間答申を提出
12. 10 83局でフレッツADSL(高速インターネット)サービス提供開始
- 平成 17. 3. 1 行政改革推進委員会が行政改革の最終答申を提出
3. 31 若桜町自立促進計画を策定
3月末 若桜鉄道旅行センター閉鎖
4. 26 若桜鉄道友の会を解散
5. 19 若桜町活性化施設「若桜味工房」オープン
7. 7 若桜町公共下水道事業「菰米処理区」供用開始
9. 26 青パトによる巡回パトロールスタート
11. 6 第1回若桜味工房まつり開催
12. 1 若桜町公共下水道事業「糸白見中央処理区」供用開始
- 平成 18. 4. 1 若桜町包括支援センター開設
" 若桜小学校吉川分校の休校
5. 28 開山1200年記念不動院岩屋堂大祭を開催
5. 22~24 若桜郷土文化の里などで映画「こほろぎ嬢」の撮影
6. 1 若桜町公共下水道事業「湯原中央処理区」供用開始
6. 5 八頭町とともに若桜谷の公共交通を考える協議会を設立
9. わかさ町民健康体操完成
- 平成 19. 3. 女性消防隊結成
3. 若桜町の林業を考える会を設立
3. 13 行政改革推進委員が自立促進計画の意見書を提出
3. 30 大野自治会が若桜町で初めての地縁団体として許可される
4. 1 第8次若桜町総合計画スタート
" 若桜保育所中原分所の休止
" 若桜町子育て支援センター開設
6. 投票区の見直しにより18投票区から9投票区に変更
7. 若桜町立小学校統合準備委員会を設立
8. 兵庫県多可町より蒸気機関車C12167号機の譲渡
10. 21 若桜鉄道開業20周年記念「鉄道まつり in 若桜」開催

■合併後のあゆみ

平成 20 年代

- 平成 20. 4. 1 ふるさと納税制度スタート
- 4. 2 「若桜町観光案内所」オープン
- 4. 12 日本の知が集うフォーラム「みんなの宝・若桜鉄道」開催
- 4. 12～13 「若桜鉄道桜まつり～春だ！桜だ！SLだ～」開催
- 6. 1 道の駅若桜「桜ん坊」オープン
- 7. 13 若桜鬼ヶ城跡 国史跡指定記念講演会開催
- 7. 23 若桜鉄道の駅舎や鉄橋など鉄道関連23施設が国登録有形文化財に登録
- 8. 後期高齢者医療制度開始
- 9. 1 「若桜鉄道新体制移行準備室」開設
- 9. 23 「福(29)ロードフェア」が道の駅若桜「桜ん坊」で開催
- 10. 10 若桜町の農業を考える会を設立
- 12. 13 八頭郡田舎暮らし促進協議会「八頭郡田舎暮らし促進セミナー」開催
- 平成 21. 2. 1 若桜町ふるさと観光大使に長谷川孝一さんを委嘱
- 3. 31 池田小学校閉校
- 3. 31 屋堂羅・三倉移動通信用鉄塔整備完了
- 4. 1 若桜小学校菰米分校休校
- 〃 池田小学校と若桜小学校が統合し、若桜小学校となる
- 〃 若桜鉄道(株)上下分離移行
- 4. 12 因州若桜さくら祭り開催
- 4. 18～3. 31 2009 鳥取・因幡の祭典開催
- 5. 1 八頭中央森林組合若桜事業所の開所
- 5. 6 2009 鳥取・因幡の祭典「世界砂像フェスティバル 1 市4町の日」参加
- 6. 6～7 道の駅若桜「桜ん坊」1周年記念イベント
- 7. 26 氷太くん創立 10 周年記念「野外演奏会」
- 8. 3 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会を開催(1, 000人参加)
- 8. 23 第 1 回わかさ清流まつり(わかさ制作振興会主催)
- 8. 31 交通安全啓発全国キャラバン隊(メッセージ伝達式)
- 9. 30 議会基本条例施行
- 11. 1 道の駅若桜「桜ん坊」来場者10万人目達成
- 11. 15 若桜氷ノ山自然ふれあいの里 10 周年記念と国定公園指定 40 周年記念「わかさ氷ノ山自然ふれあいシンポジウム」
- 10. ～ 12. 新型インフルエンザで小・中学校の学級・学年・学校閉鎖相継ぐ
- 12. 6 若桜町制施行 100 周年記念式典
- 平成 22. 1. 29 若桜鉄道と道の駅間に「番所」設置
- 2. 1 第 2 分団消防ポンプ車庫を新築
- 2. 26 第 1 回日本海新聞ふるさと大賞表彰式
- 3. 29 鳥取・因幡定住自立圏形成協定を締結
- 4. 1 町営バススタート
- 6. 29 ヤマト運輸(株)と若桜町が「中山間集落見守り活動協定」締結
- 7. 7 若桜線開業 80 周年事業「ふうりん列車」運行開始
- 9. 19 若ざくらふれあい作業所 10 周年記念講演会
- 9. 30 若桜小学校体育館耐震補強工事完了
- 11. 8 若桜町・平昌郡友好交流協定調印式
- 12. 22 若桜町男女共同参画推進条例制定

■合併後のあゆみ

- 平成 23. 1. 10 若桜保育所中原分所の廃止
1. 27 「若桜駅を元気にする会」設立総会開催
3. 31 町内全戸に光ファイバー網を整備
4. 4 IP告知端末(テレビ電話)による行政情報の提供・高速インターネットなどの活用開始
8. 13 若桜町ふるさと観光大使に平林都さんを委嘱
9. 30 若桜町立若桜小学校吉川分校閉校
10. 7 NHK ラジオ歌の散歩道公開録音
10. 26 新嘗祭献穀米献納
- 平成 24. 3. 11 若桜町と多可町が「災害時相互応援協定」締結
3. 22 若桜町立小中一貫校校舎整備工事完成
4. 1 若桜町立若桜学園開校
4. 7 若桜町高齢者等交流拠点施設「寄来屋」オープン
5. 31 若桜町シルバー人材センター開設
8. 6 若桜町、八頭町、兵庫県宍粟市で「災害時相互応援協定」締結
11. 12 若桜町と琴浦が「災害時相互応援協定」締結
11. 24 一般国道482号若荷谷・淵見バイパス開通
11. 29 若桜町と鳥取医療生活協同組合が「中山間集落見守り活動協定」締結
12. 3 移動販売車による買い物支援スタート
- 平成 25. 3. 2 若桜町地域総合型スポーツ施設「若桜クラブ」設立
3. 31 おためし住宅お披露目会
4. 1 わかさこども園開園
7. 1 「わかさ29工房」が稼働
8. 9~13 韓国平昌郡蓬坪初等学校児童と若桜学園児童が国際交流
10. 4 若桜町合併60周年記念「真打ち競演」公開録音
10. 19~20 氷ノ山オータムフェスタ開催
11. 17 若桜町合併60周年記念講演会
- 平成 26. 1. 8 若桜町立学校給食センター竣工
1. 30 若桜町木質資源加工ステーション完成
3. 16 合併60周年記念事業「若桜夢まちコンサート」開催
4. 1 高野隣保館が「若桜町ふれあい交流センター」へ名称変更
4. 4 保育料無料化事業がスタート
7. 3 全国近代化遺産活用連絡協議会若桜大会フォーラム開催
7. 7 わかさの保健医療を考える集い
7. 27 訪問団11名が平昌郡を訪問
9. 13 道の駅若桜桜ん坊に「バイク専用駐車場」が完成
9. 1 若桜鉄道に公募社長就任
9. 26~28 韓国平昌郡蓬坪初等学校児童と若桜学園児童が国際交流
10. 7 休憩交流処かりや(正式名称:木島家住宅主屋)が国登録有形文化財に登録
10. 19 氷ノ山山系トレイルレース開催
11. 30 若桜町ふるさと観光大使に桂まん我さんを委嘱
12. 21 かりや横丁完成
- 平成 27. 2. 5~6 第1回日本ジビエサミット
4. 1 「響の森」リニューアルオープン
4. 11 若桜鉄道SL走行社会実験

■合併後のあゆみ

- 5. 1 スtockヤード整備
- 5. 29 BMW モーターラッド GS トロフィー JAPAN in 若桜 開催
- 8. 1 灼熱雪合戦 in わかさ～夏の陣～を開催
- 8. 9 八幡広場オープン記念グラウンド・ゴルフ開催
- " 若桜民芸館オープン
- 8. 22 氷ノ山高原の宿「氷太くん」木質バイオマスボイラー導入
- 9. 28 若桜町人口ビジョン・若桜町総合戦略を策定
- 平成 28. 3. 20 若桜鉄道 隼ラッピング列車お披露目
- " 若桜ジビエフェスタ、軽トラ市開催
- 3. 20~21 光の機関車3Dプロジェクトマッピングショー開催
- 4. 13 若桜町、福井県若狭町、兵庫県多可町で「3町友好交流協定」締結
- 4. 18 子育て支援センター「遊びば」オープン
- 4. 20 韓国平昌郡議会議員来町
- 4. 29 若桜大阪間の高速バス片道料金1,600円開始
- 5. 1 ピンクSLお披露目
- 5. 18 韓国平昌郡交流職員「李美眞氏」来町（派遣期間11月16日まで）
- 5. 23 韓国平昌郡「沈在國郡守」来町
- 6. 14 移住定住・交流センターオープン
- 7. 22 若桜町、福井県若狭町、兵庫県多可町で「3町災害時相互応援協定」締結
- 8. 19~20 韓国平昌郡蓬坪初等学校児童と若桜学園児童が国際交流
- 11. 13 若桜町と学校法人辻料理学館が「包括連携協定」締結
- 11. 19 若桜迎賓館オープン
- 12. 19 若桜町と日本郵便株式会社が「地域における協力に関する協定」締結
- 平成 29. 2. 23 若桜町と株式会社ゼンリンが「災害時における地図製品等の供給に関する協定」締結
- 2. 28 第1町民体育館耐震補強工事完成
- 3. 17 「若桜町若桜一伝統的建造物群保存対策調査報告書一」刊行
- 3. 20 出張！なんでも鑑定団in若桜を収録
- 4. 1 町営バス100円運行開始
- 4. 3 続編若桜町誌編さん室開設
- 6. 2 わかさ29工房が鳥取県HACCP適合施設に認定
- 9. 7 若桜町と日本郵便株式会社が「若桜町内の郵便局との包括的連携に関する協定」締結
- 10. 14 若桜鉄道（株）開業30周年
- 11. 1 「訪問看護ステーションすずらん若桜」オープン（旧寄宿舍・自立支援ハウス）
- 11. 10 イクボス・ファミボス宣言
- 11. 14 若桜ゆはら温泉ふれあいの湯開館20周年
- 平成 30. 1. 4 せいきょう在宅総合支援センター「レインボーさくら」オープン（旧寄宿舍・自立支援ハウス）
- 2. 9~12 若桜町交流訪問団20名が平昌冬季オリンピック応援及び地元住民との交流のため訪韓
- 3. 4 若桜鉄道観光列車「昭和号」運行開始
- 11. 11 若桜鉄道広報大使にばんばひろふみさんを任命
- 12. 7 わかさ氷ノ山インフォメーションセンター竣工式
- 平成 31. 1. 13 民間団体を含む若桜町訪問団13名が平昌郡で開催されたマス祭りへ参加
- 3. 2 若桜鉄道観光列車「八頭号」運行開始
- 3. 16 若桜鉄道 隼ラッピング列車お披露目

■合併後のあゆみ

- 平成31. 3. 22 若桜町森林づくり条例制定
4. 10 韓国平昌郡守訪問団8名が来町
4. 26 若桜町エゴマ搾油加工施設「若桜エゴマ工房」開所

平成から令和へ

- 令和元. 5. 17 秋篠宮皇嗣同妃両殿下御来町
5. 25 一般国道482号供用開始（菰米～兵庫県香美町間開通）
7. 3 わかさ29工房が国産ジビエ認証施設第7号に認定
8. 28 若桜町全域が星空保全地域に認定
10. 5 わかさ氷ノ山自然ふれあいの里20周年
11. 24 一般国道482号菰米バイパス供用開始
令和2. 1. 16 若桜駅と台湾鉄路管理局内湾駅が「姉妹駅協定」締結
1. 23 旧池田小学校屋内運動場人工芝敷設
2. 28 若桜駅リニューアル
3. 7 若桜鉄道観光列車「若桜号」運行開始
" 若桜駅ナカ店舗「わかさカフェ」オープン
3. 14 八東駅行き違い施設供用開始
" 若桜鉄道ダイヤ改正により5往復（10本）増便
4. 5 若桜駅前にぎわいプラザオープン
9. 7 若桜町精米施設オープン
令和3. 2. 22 若桜地区を伝統的建造物群保存地区に決定
4. 1 子どものための学校づくり協議会（コミュニティスクール）発足
4. 1 不登校等児童生徒学習支援教室「来未」設置
4. 30 若桜町特定地域づくり事業協同組合設立
8. 2 若桜地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
12. 21 台湾新竹県横山郷と「友好交流協定」締結
令和4. 1. 13 第一生命保険㈱と「包括連携協定」締結
2. 13 若桜町長選挙・若桜町議会議員一般選挙で町政初の町長・町議の同時無投票当選
4. 12 若桜学園給食費無償化事業がスタート
5. 9 スクールバスを開始
6. 18 若桜学園開校10周年記念行事
7. 28 第10次若桜町総合計画策定
8. 30 若桜町空家等対策計画策定
10. 16 若桜鉄道㈱開業35周年記念イベント開催
12. 20~23 若桜ゆはら温泉ふれあいの湯開館25周年

緑と清流のまち 若 桜

2022年 若桜町 町勢要覧

発 行／若桜町役場 企画政策課

〒680-0792 鳥取県八頭郡若桜町大字若桜801-5

TEL：0858-82-2231 FAX：0858-82-0134

E-mail：kikaku@town.wakasa.tottori.jp

<http://www.town.wakasa.tottori.jp/>

制 作／中央印刷株式会社